



1 回 生

作業療法を知り、医療人としての基盤を築く

人体の構造や機能、こころの働きについて広く学ぶ。作業療法の理念を知り、主体的に学ぶ姿勢や医療人として遵守すべき態度を身につける。

- ✓ 主体性
- ✓ 基礎知識
- ✓ 課題発見力
- ✓ 幅広い教養
- ✓ 科学的アプローチ
- ✓ 論理的思考

PICK UP 科目

- たちばなBasis I・II
- IPW演習 I
- 作業療法学概論
- 人体の構造と機能演習 I (骨・関節・筋・神経など)
- 人体の構造と機能演習 II (呼吸・循環系、消化系など)
- 臨床見学実習



2 回 生

作業療法の基礎を身につけ、専門性を高める

作業療法を行うために必要な基礎医学や、医療職としての専門性とは何かを講義、演習、臨床実習を通じて理解を深め、自身がめざす作業療法の方向性を意識する。

- ✓ 道徳観
- ✓ 人間性
- ✓ 探究心
- ✓ 基礎医学知識
- ✓ 検査・測定技術
- ✓ 役割理解
- ✓ 在宅支援の援助
- ✓ 論理的思考
- ✓ 専門性

PICK UP 科目

- 地域作業療法学
- 作業療法評価学
- 臨床検査実習



3 回 生

社会の中で作業療法を实践する

将来を踏まえてコース※を選択し、作業療法の専門性をさらに深める。地域社会での活動を多く体験し、実際の社会課題に触れながら作業療法士として介入する手段を考え実践する。

※こころと子どもの支援コース/地域の医療と福祉コース

- ✓ 専門性
- ✓ 知識と技術
- ✓ 計画力
- ✓ 論理的思考
- ✓ 課題発見力
- ✓ 研究技法
- ✓ 実践力

PICK UP 科目

- 地域包括ケアシステム演習
- 地域実習
- 臨床評価実習



4 回 生

真に人の役に立てる作業療法の創造をめざす

作業療法学に加え、医学領域、心理領域、地域課題領域など、これまで学んできた知識・技術を統合して、こころとからだの両面から作業療法を創造し、社会に貢献できる力を養う。

- ✓ 論理的思考
- ✓ 専門性
- ✓ 研究技法
- ✓ 課題解決力
- ✓ 多職種連携
- ✓ 創造力
- ✓ 実践力
- ✓ 応用力



PICK UP 科目

- IPW演習 II
- 総合臨床実習 I・II・III
- 卒業研究